

安心・安全な暮らしに関する特別委員会 議事次第

令和7年9月29日(月)
午後1時30分～
於：第6委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「食料安全保障強化の取組について」

参考人：一般社団法人フードシステム研究所・京都

代表理事 新山 陽子 氏

3 閉会中の継続審査及び調査

4 今後の委員会運営

5 そ の 他

6 閉 会

安心・安全な暮らしに関する特別委員会 出席要求理事者名簿
(令和7年9月府議会定例会)

【危機管理部】	
危機管理総務課長	西 山 宜 昌

【文化生活部】	
生活衛生課長	小 林 哲

【農林水産部】	
農政課長	福 田 純 一
農村振興課長	今 中 豊
農産課長	瀬戸谷 隆 治

(計 5 名)

食料安全保障強化の取組について

～「京都府農林水産ビジョン」の取組～

令和 7 年 9 月
京 都 府 農 林 水 産 部

渇水による被害の発生

- 今夏の梅雨入りは、ほぼ平年並みの6月9日となったものの、梅雨明けが6月27日と平年より22日早かったことから、府北部地域（中丹・丹後管内）では、7月の降水量は平年比の10%程度と少雨傾向となった。
- 北部地域のため池貯水状況は、概ね5割程度となる中、京丹後市や伊根町では2～3割の箇所も見られた。
- これらの地域では、水田の一部で枯死や出穂の遅れなどが生じた。

■令和7年7月の降水量（mm）アメダスデータ

地域	1日～30日	平年7月	平年比
間人	18.5	170.6	11%
峰山	15.0	183.4	8%
舞鶴	19.0	192.5	10%
園部	90.5	205.3	44%
京都	180.5	223.6	81%
京田辺	70.0	181.5	39%



ほ場の一部で枯死が発生（水稻）

■農作物被害状況（令和7年8月4日時点）

- 1 **水稻**：取水が困難な地域で葉色の変色や葉巻きが発生、一部で枯れ始めなど収量・品質の低下懸念
- 2 **果樹** 【ナシ】：葉焼け、枝に萎れが発生、肥大速度が鈍化
【モモ】：肥大不足や渋みが増すことが懸念される。生理落果の発生
- 3 **野菜** 【万願寺とうがらし】：尻腐れ果の発生による出荷量の減少
【京 夏ずきん、紫ずきん】：生育の遅れ、落葉、落花の発生
- 4 **豆類** 【黒大豆、小豆】：発芽不良
- 5 **茶**：夏芽が伸長不良、葉焼けの発生

京都府の取組（「京都府農林水産ビジョン」等）

- 渇水・高温など異常気象の常態化により、農業生産が不安定化している**

安定した農業生産の実現のため、

- ①**緊急的な支援や**
- ②**生産基盤の強化が必要**

- 生産コスト上昇等により、農業経営は厳しさが増している**

持続的な農業経営の実現には、

- ③**最先端技術の活用や**
- ④**販売支援による経営強化と併せて、**
- ⑤**専門人材の育成が必要**

①緊急的な支援（今夏の渇水被害に対する取組）

▶「京都府農業渇水緊急対策会議」を8月4日に開催

- ・以下の緊急的な取組などを決定

○揚水ポンプの活用による水田への給水

- ・府内各振興局から揚水ポンプを現場に貸し出し
- ・8月1日「水稻渇水対策支援事業」の実施、公報による周知
- 補助対象：
 - ・農業経営体（認定農業者、認定新規就農者又は農地所有適格法人）
 - ・3戸以上の販売農家で構成される団体
- 補助率：1／2以内
- 補助上限額：100千円
- 予算額：40,000千円（令和7年度6月補正予算）の一部

○宮津湾浄化センター放流水を活用した、農地への給水

- ・8月1日、宮津市内の1農区を対象に、水田への注水試験を実施
- ・その後、本格運用に当たり、一次貯留水槽などを整備

○農業改良普及センターから技術情報の提供と現場指導を実施

②生産基盤の強化

▶今夏の渇水被害に対しては、今後の**安定的な農業用水の確保**に向けた**生産基盤の強化**が必要

- ・ 農業用水利施設におけるポンプ設置等を進めるため、今定例会に予算案を提案
- ・ ため池等の機能性の診断結果などを示した「機能保全計画」に基づき、整備を推進

▶**生産コスト低減による生産力強化**に向けた支援と、「**京都府みどりの食料システム基本計画**」による、輸入原料に過度に依存しない**循環型農業**を推進

○肥料費や府内産有機質肥料等への転換に要する経費等への支援

- ・ 肥料費支援：【肥料価格高騰対策事業（R4～5）】
- ・ 府内産肥料等への転換支援：【肥料高騰緊急対策事業（R4.5補）】
【肥料高騰緊急対策拡充支援事業（R4.9補）】
- ・ 生産性向上に向けた支援：【省エネルギー機器転換支援事業（R4～5）】

▶**高温対策技術の確立・普及**による**生産力強化**

○実証ほでの**現地実証**と**高温対策機器・資材等の導入支援**

- ・ 42項目を実証・マニュアル化し普及展開：【高温対策実証ほ設置事業（R6.2補）】
- ・ 高温対策機器等の導入支援：【高温対策支援事業（R6.2補）】

③先端技術の活用、④販売支援

▶「京都フードテック基本構想」（令和5年3月策定）により、**収益性の高い農業経営の実現に向け、先端技術を活用し、所得向上を図る。**

○農業経営のリスクを高める**気候変動への対応**

- ・新品種育成や環境制御技術、生育・病虫害予測などの研究を強化

○生産性の向上を図る**スマート技術の開発**

- ・企業や大学との連携による、栽培管理の省力化や自動化に向けた取組の推進

○新たな需要創造につながる**付加価値の創出**

- ・京野菜や宇治茶に多く含まれる機能性成分を高める栽培技術の確立やエビデンスの取得に関する研究の推進

▶**ブランド価値向上のための付加価値の向上、市場競争力の強化を推進**

- ・「京のプレミアム米コンテスト」による食味評価を通じた生産技術の向上
- ・「京都府みどり認定」制度の普及・拡大による、付加価値の向上

※「京都府みどり認定」：環境負荷低減の取組を行う農業者の計画を府が認定

認定マークを活用
したPRが可能



⑤人材の育成

▶「京都府農林水産業人材確保育成戦略」（令和7年3月策定）により、**農業の成長産業化を担う専門性の高い人材**などの育成・確保が必要

○「育成すべき担い手像」の設定

- ・ **高度技術人材**：環境変化に対応し、最先端技術を積極的に取り入れ、生産効率を向上できる。
- ・ **高度経営人材**：生産から消費までを見据え、様々な経営リスクに柔軟・的確に対応できる。

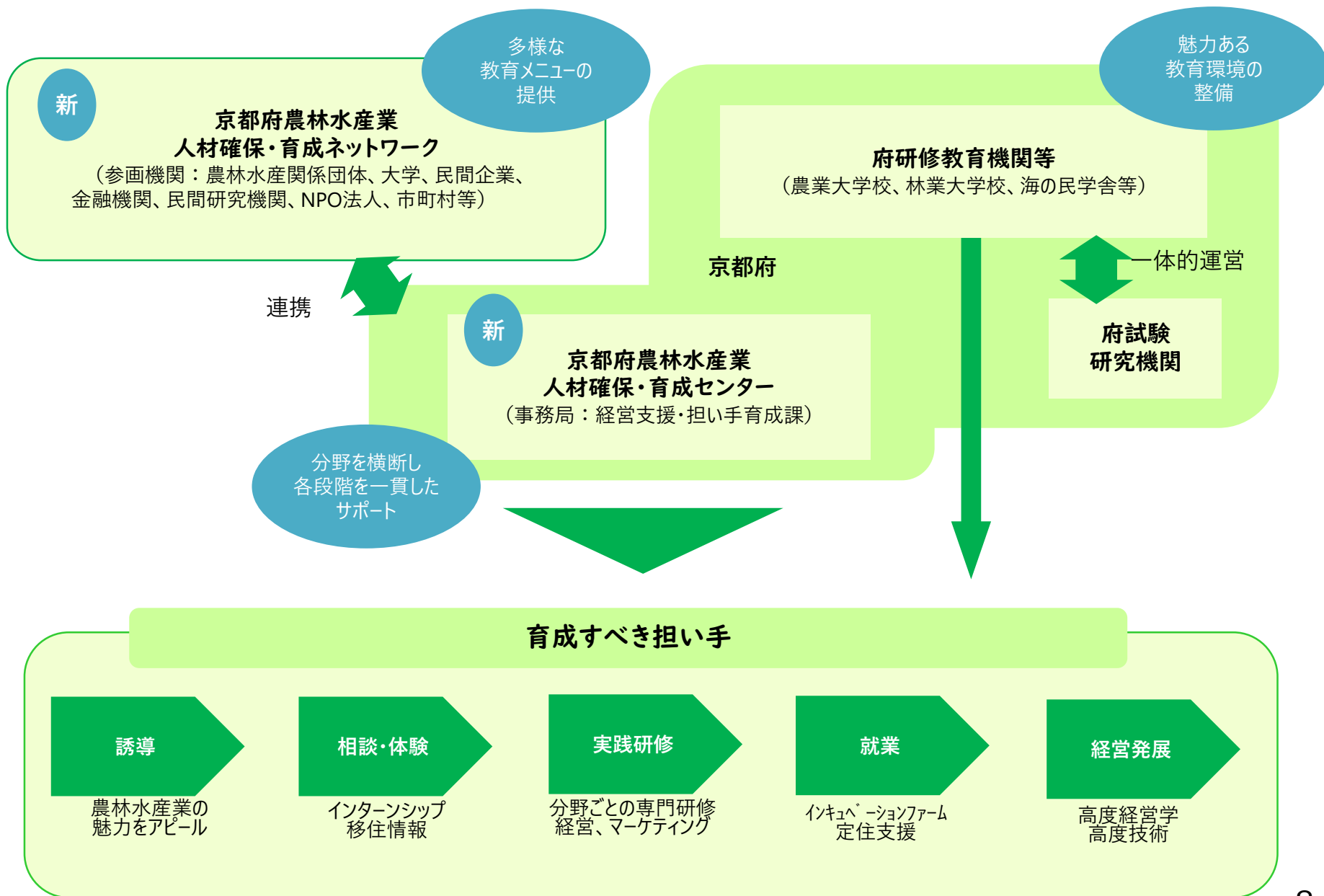
○「京都府農林水産業人材確保・育成センター」による、人材確保・育成のトータルマネジメント

- ・ 農林水産業の分野を横断し、誘導から研修、就業、経営発展まで、一人一人の希望に寄り添って一貫してサポート

○「京都府農林水産業人材確保・育成ネットワーク」による、教育カリキュラムの提供

- ・ 産学公民によるネットワークを構築し、「京都府農林水産業人材確保・育成センター」が個々のネットワーク参画主体と連携して、育成すべきに担い手のニーズに応じた多様な教育メニューを効果的・効率的に提供

人材確保・育成の新たな仕組み



(案)

令和7年 月 日

京都府議会議長 荒 巻 隆 三 殿

安心・安全な暮らしに関する特別委員長 宮 下 友紀子

閉会中の継続審査及び調査要求書

本委員会に付されている事件は、下記の理由により、引き続き審査及び調査を要するものと認めるから、京都府議会会議規則第75条の規定により申し上げます。

記

1 件 名

自然災害に対する防災・減災対策、複雑化する犯罪への対応、感染症に備えた保健・医療・介護体制の構築など、府民の安心・安全の実現に向けた施策について

2 理 由

審査及び調査が終了しないため